

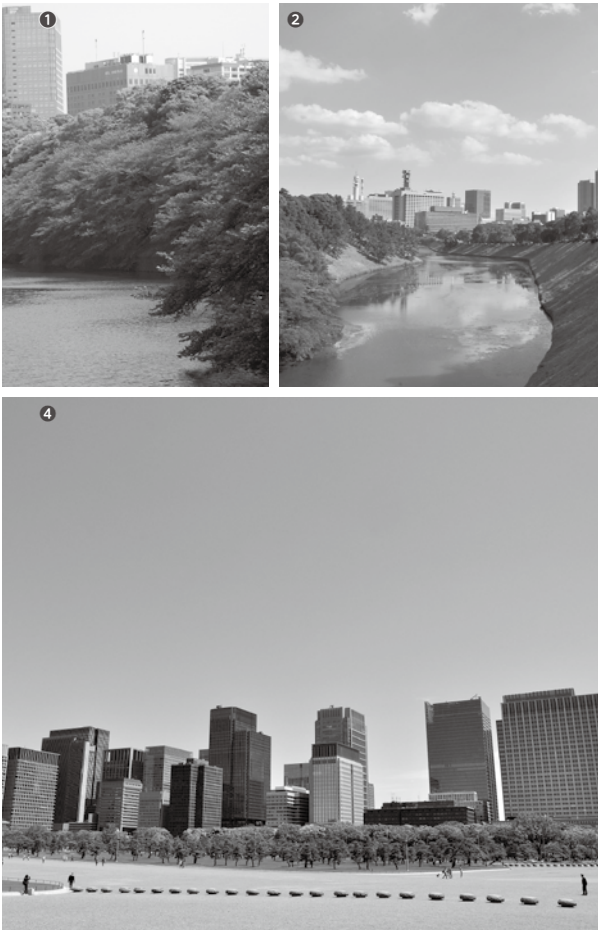
“わたしのまち”

千代田区

地域が支える環境モデル都市・千代田区

区民・企業・学校が自主的に地球温暖化配慮行動に取り組むまち

千代田区は、企業や大学・専門学校などが多く立地する地域です。官庁街である霞が関、企業のオフィスビルが並ぶ大手町や丸の内・有楽町、電気街のある秋葉原、学生街・古本屋街として知られる神保町・お茶の水・水道橋など、様々な街並みがそろいます。いま、千代田区では、区民・企業・学校などが地球温暖化配慮行動に自主的に取り組む基盤が育ちつつあります。区では明治大学の学生と協力し、区内企業の平成27年度地球温暖化配慮行動の主な取組をまとめた事例集「御仕事、恵呼化、見本帖」を発行しました。



環境モデル都市・千代田区

「千代田区は日本の経済の中心、だけど比較的緑が多くて、産業と自然の調和がとれた、過ごしやすい区だよね。」
「今よりもっと千代田区を緑でいっぱいにして『緑の区、千代田』と呼ばれるようにしたいね。」

このような対話ではじまる千代田区地球温暖化対策条例は、中学生の対話を前文に盛り込んだ全国的にもめずらしい形の条例です。

平成20年に施行され、2020年までに区内の二酸化炭素排出量を1990年に比べて25パーセント削減しようと自治体ではじめて具体的な数値目標を定めました。

経済と環境とが調和した二酸化炭素の排出が少ない社会をめざし、地球を良好な状態で子どもたちやさらに未来の人々に引き継ぐことを目的として制定されたこの条例のもと、区は区民や事業者と一体となって地球温暖化対策を進めています。

こうした取組が評価され、平成21年には、国から環境モデル都市として選定されました。

環境モデル都市とは、持続可能な低炭素社会の実現に向け高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市です。現在、全国で23都市ありますが、区内では千代田区だけが唯一選定されています。



千代田区が平成23年に開始した温暖化配慮行動計画書制度により優れた取組を行う事業所に授与されるトロフィーは、姉妹都市で秋田杉の産地である五城目町で作られた、天然秋田杉と神代杉の組子細工が施されたもの



千代田区は東京都で唯一の環境モデル都市

環境モデル都市

- ① 下川町 (北海道)
- ② 帯広市 (北海道)
- ③ 千代田区 (東京都)
- ④ 横浜市 (神奈川県)
- ⑤ 飯田市 (長野県)
- ⑥ 富山市 (富山県)
- ⑦ 豊田県 (愛知県)
- ⑧ 京都市 (京都府)
- ⑨ 堺市 (大阪府)
- ⑩ 構原町 (高知県)
- ⑪ 北九州市 (福岡県)
- ⑫ 水俣市 (熊本県)
- ⑬ 宮古島市 (沖縄県)
- ⑭ 新潟市 (新潟県)
- ⑮ つくば市 (茨城県)
- ⑯ 御嵩町 (岐阜県)
- ⑰ 尼崎市 (兵庫県)
- ⑱ 神戸市 (兵庫県)
- ⑲ 西栗倉村 (岡山県)
- ⑳ 松山市 (愛媛県)
- ㉑ ニセコ町 (北海道)
- ㉒ 生駒市 (奈良県)
- ㉓ 小国町 (熊本県)



地域で独自に温暖化配慮行動に取り組みまち

千代田区ではいま、企業・学校が主に地球温暖化配慮行動に取り組む基盤が育ちつつあります。区が行政としてさまざまな施策を行うと同時に、区内の企業や学校も先駆的な独自の取組を進めています。

千代田区は皇居を中心とする水とみどりに囲まれた豊かな自然環境に恵まれており、面積は11・66平方キロメートルと東京都で5番目に小さい区ですが、わが国を代表する大企業や官公庁

千代田エコシステム(CES)とは

“Chiyoda Eco System”の頭文字をとって「CES」の略称で呼ばれることの多い、千代田区が独自に構築した、環境配慮行動を促進するための仕組み。区内の企業や学校に通勤・通学する人を含めると昼間人口が約82万人にもなる千代田区では、区のCO₂を削減するためには、これらすべての人の協力が必要となる。そこで、区の住人や通学者等個人向けのクラス1、個人事

業主向けのクラス2、企業・学校・病院・各種団体等事業所向けのクラス3に分け、それぞれに合ったエコ活動を実践できるようになっている。導入した企業からは、「組織で取り組む重要性を認識した」「会社全体で取り組むことで、社員一人ひとりが環境に対する意識を持つきっかけができた」「CES活動することで会社の経費削減につながっている」といった声があがっている。

クラス1 個人向け

省エネ・省資源活動、緑化推進、地域清掃、マイバッグ、マイはし、エコポイントなど

クラス2 個人事業主向け

節電やゴミの減量などの関心事項について目標や計画を設定し、自己点検までを行う

クラス3 事業所向け

環境配慮活動計画の策定、自己点検、報告書の作成、外部監査、見直し、認証

などが集まり、政治・経済の中心を担っている地域です。

また、昼夜の人口差が大きいのも特徴で、夜間人口が約5万9000人(平成28年6月1日現在)なのに対し、昼間は約82万人もの人が通勤・通学などで区内に集まっています。

区では、CO₂排出量の76パーセントをオフィスを中心とする業務部門が占めているため、業務部門のCO₂排出量をいかに削減するかが課題となっています。そのため、企業や学校に働きかけ、昼間区民が環境に配慮する意識や行動を身につけて日常的に実行す

れば、地球温暖化防止に大きな効果があると考えました。そこで区では、平成23年に温暖化配慮行動計画書制度の運用を開始しました。

これは、区内の各事業所が日頃から取り組んでいる「環境活動」「環境教育」「地域貢献」などの地球温暖化配慮行動について、その実施状況や計画を報告してもらうもので、区ではその取組を公表し、さらにその中でも優良なものを表彰することで、事業者の環境への取組の普及を図っています。

平成27年度は249の事業所がエントリーし、4事業所を表彰しました。区内には、主体的に環境共生に取り組む企業で構成される民間団体(大丸

事例集「御仕事」恵呼化「見本帖」を発行

平成23年より実施している温暖化配慮行動計画書制度について、ほかの事業所が行っている取組を知りたいという事業所担当者からの声にこたえるため、区では、平成24年度から各事業所の取組を毎年公表しています。

最新版となる平成27年度は、より幅広い世代に手にとってもらい、各事業所の先駆的な取組を広く知ってもらうため、千代田エコシステム推進協議会のほか明治大学の学生と協力し、事例集「御仕事」恵呼化「見本帖」を作

平成27年度

温暖化配慮行動計画書制度

優良な取組を実施したとして表彰された事業者

- 最優秀賞** 三井住友海上火災保険株式会社
取組の一部：Web約款やeco保険証券の推奨、駿河台ビルでの屋上庭園や菜園等緑化を行い、地域に開放するなどしている。
- 優秀賞** 東京センチュリーリース株式会社
取組の一部：独自のクラウドサービスによるペーパーレス化や、社員による定期的な清掃活動など。
- 特別賞** 株式会社大塚商会
取組の一部：社内でのエコパトロールの実施や、使い捨てコンタクトレンズの空ケースのリサイクル運動など。
- 環境配慮賞** 日本紙通商株式会社
取組の一部：毎月の電気使用量を社員にメールで周知するなどの見える化、環境教育として全社員にeラーニングを実施するなど。

大学生とつくった

御仕事
“恵呼化”
見本帖



平成27年度の各事業所の温暖化配慮行動の主な取組事例集として、明治大学政治経済学部学生たちと千代田区環境まちづくり部環境政策課、千代田エコシステム推進協議会で作成した。区役所2階区政情報コーナー、区内各出張所、図書館等で配布されている。(A4版32ページ)



「企業が環境配慮を通して地域と繋がっていることに感銘を受けた」

「一流企業の社員が持つ雰囲気緊張した。社会人のマナーを学んだ」

明大生がおすすめする環境関連図書

- ◆環境ビジネスへの理解が深まる！
『排出権商人』黒木 亮 (角川文庫)
- ◆未来の環境配慮型自動車の行方はどうなるのか!?
『ゼフィラム』楡 周平 (朝日文庫)
- ◆“食の安全”と“農業”がテーマ
『黙示』真山 仁 (新潮文庫)

※「御仕事 “恵呼化” 見本帖」より

成・発行しました。
明治大学政治経済学部大森ゼミナールで環境経済学を学ぶ学生ら10名と大森正之教授が作成に携わったこの事例集は、今年2月に発行されるや大変話

題となり、各マスコミ等にも取り上げられました。
「御仕事 “恵呼化” 見本帖」という名称も学生たちが考えたもので、ほかの企業にも参考にしてもらい、区内に恵

みを呼ぶという願いをこめて名付けたそうです。また、「読みやすく参考にしたくなる冊子をめざそう」と、誌面の中で学生たちが自分たちの言葉で事業所の取組を紹介したり、事業所CSR担当に取材し、直接インタビューを行ったりました。さらに、おすすめ環境関連図書のページを設けることでより広く環境問題に興味を持つてもらえるようにつくりなっています。
冊子には、屋上庭園を造ったり、消灯時間を設けたり、社員による地域の清掃活動の様子や社内で席を長く離れる場合にパソコンの電源を切るよう注意を促す「エコパトロール」を実施するなど、事業所ごとに個性あふれる取組が掲載されており、普段なかなか知る機会のない企業の温暖化配慮行動への取組について知ることが出来ます。
2月26日には、事例集が完成したことを報告するため学生たちが石川雅己千代田区長を訪ねました。学生たちが「恵呼化」と名付けたときの想いや、作成に携わった感想など熱い想いを受けて石川区長は、「地球温暖化対策条例は中学生の地球温暖化に対する思いを前文としたものだが、あのとき中学生で現在は大学生となった君たちがこ

のように企業と環境について考えていると思うと感慨深いものがある。この『御仕事 “恵呼化” 見本帖』を作成したときの思いを「バトン」として未来につなげてほしい」と語りました。
このほか区では、環境負荷が少なく、自動車使用からの転換によるCO₂排出量削減等が期待できる、コミュニティサイクル事業実証実験「ちよくる」を実施しています。区内47カ所ものサイクルポートで自転車の貸出・返却が可能なので、区内をらくに移動することが出来ます。
皇居のまわりや千鳥ヶ淵、日比谷公園など、環境モデル都市・千代田区の豊かなみどりとやさしい風を自転車を感じてみてはいかがでしょうか。



現在はコミュニティサイクル事業に積極的に取り組む4区(千代田区・中央区・港区・江東区)で、区境を越えた広域的な相互利用の実現に向けた4区乗り入れ実証実験も実施している